

都市再生整備計画 事後評価シート

厚木駅周辺地区

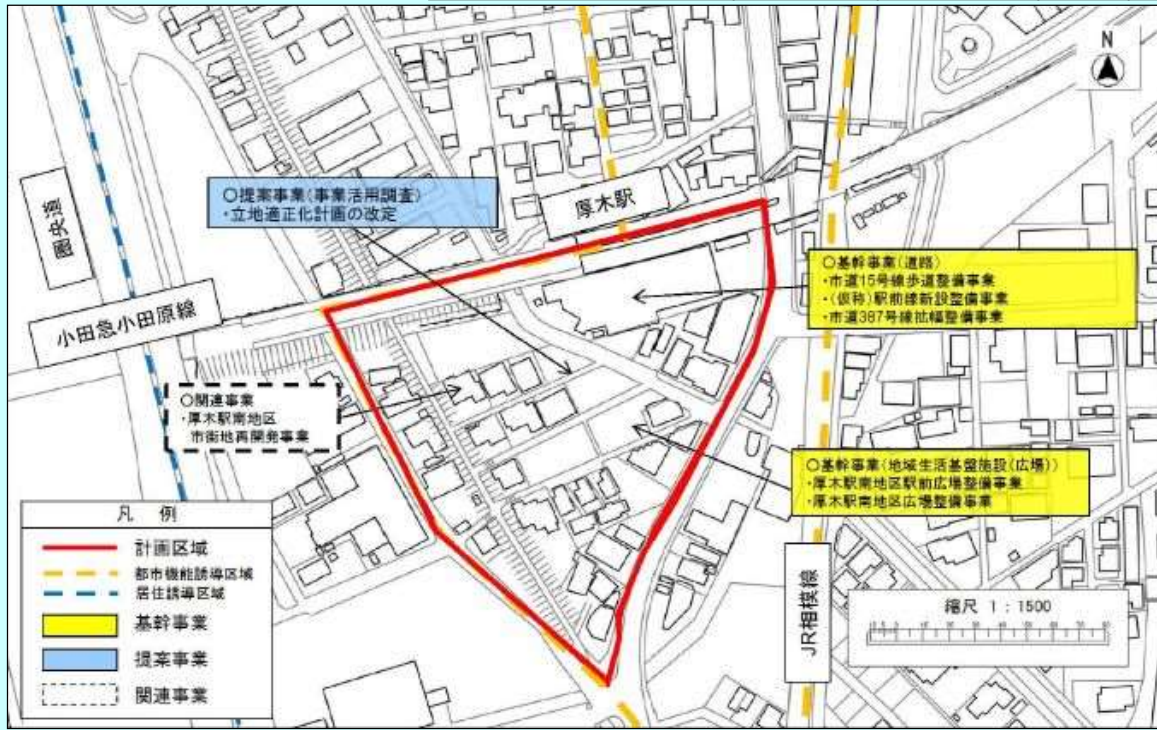
令和7年3月

神奈川県海老名市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	海老名市		地区名	厚木駅周辺地区			面積	1.8ha		
交付期間	平成31年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	1,346百万円		国費率	0.468			
1) 事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	事業名											
		基幹事業	市道15号線歩道整備事業、(仮称)駅前線新設整備事業、市道387号線拡幅整備事業、厚木駅南地区駅前広場整備事業、厚木駅南地区広場整備事業										
		提案事業											
	当初計画 から 削除した 事業	事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業											
		提案事業											
	新たに追加した 事業	基幹事業											
		提案事業	立地適正化計画の改定				居住誘導区域内における防災指針の作成に伴い、立地適正化計画を改定するため。				影響なし		
交付期間 の変更	当 初	平成31年度～平成34年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		影響なし							
変 更	平成31年度～令和5年度												
2) 都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	アクセス性の向上	%	74.4	H29	76	R5	—	76.3	○	あり なし	当該事業により駅前広場が整備され車両からの乗り降りが容易になったことや、道路・歩道の拡幅整備により、厚木駅に向かう歩行者や車両の交通利便性に寄与することができたと考える	次回の市政アンケート実施後
	指標2	賑わいのある空間の創出	人/日	35,562	H28	38,000	R4	—	29,357	△	あり なし	コロナ禍におけるテレワークの導入など働き方の変動により市内全駅の利用者が減少しているが、市内他駅の状況の変化を勘案すると、当該事業による効果は十分発揮されたと考える。	—
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4) 定性的な効果 発現状況	その他の数値指標3												
	当該事業の完了に伴い、厚木駅に向かう歩行者や車両の交通利便性の向上、また駅前広場の整備により、地元商店会等におけるイベント利用などの気運が高まっている。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による 取組	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

厚木駅周辺地区(神奈川県海老名市)都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
厚木駅南地区市街地再開発事業に合わせ、都市基盤等の整備を行うことで、アクセス性の向上、駅乗降客数の増加及び駅周辺の混雑緩和を図り、公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生を目指す。		アクセス性の向上	単位： %	74.4	H29	76	R5	76.3 R7(予定)
		賑わいのある空間の創出	単位： 人/日	35,562	H28	38,000	R4	29,357 R4
		駅周辺の混雑緩和	単位： 台/時間	30	H30	0	R4	3 R6
 厚木駅南地区駅前広場整備事業				 市道15号線歩道整備事業 市道387号線拡幅整備事業				
 (仮称) 駅前線新設整備事業				 厚木駅南地区広場整備事業				
まちの課題の変化				今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)				
まちの課題の変化		・海老名駅周辺を中心に、開発が集中的に行われていることで、周辺道路においても慢性的な交通混雑が発生している。 ・テレワークの導入など働き方改革等に伴い駅利用者が減少している。						
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・立地適正化計画における厚木駅周辺地区の誘導施設である3,000㎡超の商業施設や病院、銀行等の金融機能を誘導するため、新たなまちづくりの方策を検討していく。						